

14時30分解禁

令和2年12月 全国百貨店売上高概況

令和3年1月22日

I. 概況

1. 売上高総額	5,464億円余
2. 前年同月比	-13.7% (店舗数調整後/15か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 196店 (令和2年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,047,831㎡ (前年同月比:-4.1%)
5. 総従業員数	59,816人 (前年同月比:-6.4%)
6. 3か月移動平均値	5-7月 -34.1%、6-8月 -20.4%、7-9月 -25.6%、 (店舗数調整後) 8-10月 -20.5%、9-11月 -17.8%、10-12月 -10.8%

[参考] 令和元年12月の売上高増減率は-5.0% (店舗数調整後)

【特徴】

12月の売上高は13.7%減と、前月より0.6ポイント改善したものの、15か月連続のマイナスとなった。月前半から、歳暮やクリスマスケーキ、おせちの受注を中心に賑わいを見せた他、富裕層を中心とした高額品(美・宝・貴/1.9%増/3か月連続)の需要も底堅く推移したが、中旬以降の、新型コロナ感染再拡大による自粛気運の影響をカバーするには至らなかった。

顧客別では、国内市場は10.0%減(2か月連続/シェア99.4%)、入国規制が続くインバウンドは88.6%減(34.4億円/11か月連続/シェア0.6%)と依然低水準で推移している。

地区別では、インバウンド比率の低い地方(10都市以外の地区/8.3%減/2か月連続)は、前月より1.9ポイント改善し、大都市(10都市/15.8%減/15か月連続)との差は7.5ポイントと広がった。

商品別では、年末年始の帰省自粛などから、家での時間を充実させる「イエナカ消費」「巣ごもり需要」の傾向はより顕著で、調理家電やリビング関連、寝具類が好調であった。年末商戦では、クリスマスケーキ、おせちが活況で、特におせちは会期終了前に完売するケースも見られた。コロナ禍にあつてEC売上は急伸しており、着実にシェアを伸ばしている。

令和2年年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で25.7%減(3年連続/4兆2,204億円)、インバウンドは、80.2%減(686億円)と4年ぶりに前年実績を下回った。

現在の緊急事態宣言下において、各社では、安心・安全な売場環境の整備に一層注力するとともに、デジタル活用による顧客接点の開拓など、新たなマーケティング施策を積極推進している。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇中旬と下旬後半に強い寒気が流れ込んだため、北・西日本で月平均気温が低く、北陸地方を中心に記録的な大雪となった所があった。降水量は北日本太平洋側ではかなり少なく、東・西日本太平洋側では少なかった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 8日(〃 -1日/日曜1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数112店舗)
①増加した：1店、②変化なし：6店、③減少した：105店
- (5) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数84店舗)
①増加した：3店、②変化なし：12店、③減少した：69店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2020年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	546,472,713	100.0	-13.7 (-14.7)
10都市	385,918,862	70.6	-15.8 (-16.0)
札幌	13,349,937	2.4	-26.2
仙台	8,049,947	1.5	-5.8
東京	147,289,966	27.0	-15.9
横浜	35,596,374	6.5	-11.1
名古屋	35,719,485	6.5	-11.4
京都	22,324,436	4.1	-16.0
大阪	77,176,776	14.1	-19.7
神戸	14,062,975	2.6	-7.1 (-13.9)
広島	11,254,110	2.1	-20.8
福岡	21,094,856	3.9	-12.1
10都市以外の地区	160,553,851	29.4	-8.3 (-11.3)
北海道	1,364,589	0.2	-9.2
東北	6,675,464	1.2	-7.1 (-16.8)
関東	70,930,616	13.0	-7.8 (-9.4)
中部	12,323,899	2.3	-8.4 (-17.4)
近畿	22,870,553	4.2	-7.6 (-11.4)
中国	12,112,488	2.2	-9.9
四国	8,059,893	1.5	-9.9 (-21.2)
九州	26,216,349	4.8	-9.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	546,472,713	100.0	-13.7 (-14.7)
紳士服・洋品	30,275,763	5.5	-22.6 (-23.4)
婦人服・洋品	79,320,727	14.5	-20.0 (-20.9)
子供服・洋品	7,951,147	1.5	-18.0 (-19.2)
その他衣料品	9,134,254	1.7	-5.7 (-7.1)
衣 料 品	126,681,891	23.2	-19.6 (-20.6)
身のまわり品	69,902,616	12.8	-13.1 (-14.0)
化粧品	38,144,780	7.0	-26.7 (-27.4)
美術・宝飾・貴金属	39,943,367	7.3	1.9 (1.0)
その他雑貨	17,354,049	3.2	-12.0 (-13.1)
雑 貨	95,442,196	17.5	-14.0 (-14.8)
家 具	4,782,726	0.9	-14.2 (-15.1)
家 電	1,346,817	0.2	46.7 (46.4)
その他家庭用品	14,562,537	2.7	-7.1 (-8.3)
家 庭 用 品	20,692,080	3.8	-6.6 (-7.7)
生 鮮 食 品	41,318,088	7.6	-6.6 (-7.7)
菓 子	56,679,812	10.4	-13.5 (-14.7)
惣 菜	48,328,428	8.8	-7.0 (-8.0)
その他食料品	62,252,048	11.4	-6.9 (-8.1)
食 料 品	208,578,376	38.2	-8.8 (-9.9)
食 堂 喫 茶	8,312,339	1.5	-36.9 (-37.4)
サ ー ビ ス	4,067,349	0.7	-21.0 (-21.9)
そ の 他	12,795,866	2.3	-15.3 (-15.7)
商 品 券	17,826,525	3.3	-13.7 (-14.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向 - 15.8% (店舗数調整後/15か月連続マイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向 - 8.3% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-15.8	-11.4	15か月連続マイナス
札幌	-26.2	-0.7	11か月連続マイナス
仙台	-5.8	-0.1	2か月連続マイナス
東京	-15.9	-4.4	15か月連続マイナス
横浜	-11.1	-0.7	2か月連続マイナス
名古屋	-11.4	-0.7	2か月連続マイナス
京都	-16.0	-0.7	15か月連続マイナス
大阪	-19.7	-3.0	15か月連続マイナス
神戸	-7.1	-0.2	2か月連続マイナス
広島	-20.8	-0.5	11か月連続マイナス
福岡	-12.1	-0.5	15か月連続マイナス
10都市以外の地区	-8.3	-2.3	2か月連続マイナス
北海道	-9.2	-0.0	11か月連続マイナス*
東北	-7.1	-0.1	11か月連続マイナス*
関東	-7.8	-0.9	2か月連続マイナス
中部	-8.4	-0.2	2か月連続マイナス
近畿	-7.6	-0.3	2か月連続マイナス
中国	-9.9	-0.2	2か月連続マイナス*
四国	-9.9	-0.1	15か月連続マイナス
九州	-9.1	-0.4	15か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

NEWS LETTER

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、衣料品、食料品が15か月連続、身のまわり品、雑貨、家庭用品が2か月連続と全品目がマイナスとなった。その他の品目は、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-13.7	—	15か月連続マイナス
紳士服・洋品	-22.6	-1.4	15か月連続マイナス
婦人服・洋品	-20.0	-3.1	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-18.0	-0.3	2か月連続マイナス
その他衣料品	-5.7	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	-19.6	-4.9	15か月連続マイナス
身のまわり品	-13.1	-1.7	2か月連続マイナス
化粧品	-26.7	-2.2	11か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.9	0.1	3か月連続プラス*
その他雑貨	-12.0	-0.4	2か月連続マイナス*
雑貨	-14.0	-2.5	2か月連続マイナス
家具	-14.2	-0.1	2か月連続マイナス
家電	46.7	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-7.1	-0.2	2か月連続マイナス
家庭用品	-6.6	-0.2	2か月連続マイナス
生鮮食品	-6.6	-0.5	26か月連続マイナス*
菓子	-13.5	-1.4	11か月連続マイナス*
惣菜	-7.0	-0.6	15か月連続マイナス*
その他食料品	-6.9	-0.7	15か月連続マイナス*
食料品	-8.8	-3.2	15か月連続マイナス
食堂喫茶	-36.9	-0.8	15か月連続マイナス
サービス	-21.0	-0.2	10か月連続マイナス
その他	-15.3	-0.4	2か月連続マイナス
商品券	-13.7	-0.4	118か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

令和2年12月 東京地区百貨店売上高概況

令和3年1月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1,472億円余
2. 前年同月比	-15.9% (15か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-16.9%(89.4%) : 非店頭-5.6%(10.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	819,540㎡ (前年同月比:-2.3%)
6. 総従業員数	16,170人 (前年同月比:-5.4%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 -40.1%、6-8月 -27.0%、7-9月 -30.8%、 8-10月 -24.3%、9-11月 -20.5%、10-12月 -13.7%

[参考] 令和元年12月の売上高増減率は-3.2% (店舗数調整後)

【特徴】

- 12月の東京地区は、中旬以降の新型コロナウイルス再拡大により、外出自粛が広がったことに加え、免税売上も大幅減が続いていることで、売上高(15.9%減/15か月連続)、入店客数(35.6%減/15か月連続)ともに全国水準を下回る結果となった。
- 商品別では、主要5品目全てマイナス基調にある中、ブライダル関連が伸長した宝飾や、時計などの高額品(美術・宝飾・貴金属:4.4%増/3か月連続)は好調に推移した他、巣ごもり需要を背景に家電(58.6%増)もプラスに転じ、空気清浄機、テレビ、調理家電、更には家族型ロボットなどにも動きが見られた。一方、衣料品(23.9%減)は、クリアランスの前倒しや分散開催を実施したが、主力のコートなど防寒衣料の動きが鈍く苦戦した。
- 年末商戦は、各社が新型コロナウイルス感染防止を第一義に混雑回避の各種施策を実施し、特にEC展開を強化したクリスマスケーキやおせちの売上は好調に推移した。中でも、おせちについては個食対応や高額品など多彩な商品展開で人気を博した。その他個別アイテムでは、クリスマス需要でオードブルや精肉、洋酒などが比較的健闘した。
- 令和2年年間売上高は、コロナ禍における店舗休業や入店客数減が大きく影響し、既存店ベース(店舗数調整後)で29.1%減(1兆1,307億円)と2年連続のマイナスとなった。
- 1月中間段階の商況は、2度目の緊急事態宣言による時短営業の実施や外出自粛気運の高まりで、42.4%減(1/18)と厳しい商況で推移している。

【要因】

- 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 1店、③減少した: 17店
- 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数15店舗)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 3店、③減少した: 11店

東京地区百貨店 売上高速報 2020年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	147,289,966	100.0	-15.9
紳士服・洋品	10,066,350	6.8	-23.6
婦人服・洋品	18,288,715	12.4	-25.5
子供服・洋品	1,811,061	1.2	-20.7
その他衣料品	2,153,752	1.5	-12.4
衣 料 品	32,319,878	21.9	-23.9
身のまわり品	19,494,553	13.2	-18.9
化粧品	11,540,318	7.8	-25.2
美術・宝飾・貴金属	12,973,690	8.8	4.4
その他雑貨	5,419,574	3.7	-16.9
雑 貨	29,933,582	20.3	-12.9
家 具	1,557,781	1.1	-11.5
家 電	904,898	0.6	58.6
その他家庭用品	3,731,017	2.5	-8.9
家 庭 用 品	6,193,696	4.2	-3.6
生 鮮 食 品	7,558,842	5.1	-8.4
菓 子	13,836,931	9.4	-19.0
惣 菜	12,575,556	8.5	-5.7
その他食料品	18,142,405	12.3	-6.0
食 料 品	52,113,734	35.4	-10.1
食 堂 喫 茶	1,782,174	1.2	-42.7
サ ー ビ ス	1,790,252	1.2	-16.5
そ の 他	3,662,097	2.5	-18.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	3,925,294 千円	-14.6
従 業 員 数	16,170 人	-5.4
店 舗 面 積	819,540 m ²	-2.3
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、衣料品が15か月連続、身のまわり品、食料品が11か月連続、雑貨、家庭用品が2か月連続と全品目がマイナスとなった。その他の品目は、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-15.9	—	15か月連続マイナス
紳士服・洋品	-23.6	-1.8	15か月連続マイナス
婦人服・洋品	-25.5	-3.6	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-20.7	-0.3	2か月連続マイナス
その他衣料品	-12.4	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-23.9	-5.8	15か月連続マイナス
身のまわり品	-18.9	-2.6	11か月連続マイナス
化粧品	-25.2	-2.2	15か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	4.4	0.3	3か月連続プラス*
その他雑貨	-16.9	-0.6	2か月連続マイナス*
雑貨	-12.9	-2.5	2か月連続マイナス
家具	-11.5	-0.1	2か月連続マイナス
家電	58.6	0.2	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-8.9	-0.2	2か月連続マイナス
家庭用品	-3.6	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-8.4	-0.4	27か月連続マイナス*
菓子	-19.0	-1.9	11か月連続マイナス*
惣菜	-5.7	-0.4	11か月連続マイナス*
その他食料品	-6.0	-0.7	10か月連続マイナス*
食料品	-10.1	-3.3	11か月連続マイナス
食堂喫茶	-42.7	-0.8	15か月連続マイナス
サービス	-16.5	-0.2	15か月連続マイナス
その他	-18.4	-0.5	3か月連続マイナス
商品券	-14.6	-0.4	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2020年1月～2020年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	4,220,425,225	100.0	-25.7 (-26.7)
10都市	2,948,249,748	69.9	-28.1 (-28.2)
札幌	106,059,064	2.5	-33.0
仙台	63,780,646	1.5	-16.0
東京	1,130,748,819	26.8	-29.1 (-29.2)
横浜	272,491,396	6.5	-22.7
名古屋	273,296,222	6.5	-25.6
京都	171,242,226	4.1	-28.1
大阪	580,532,316	13.8	-31.6
神戸	105,245,289	2.5	-19.6 (-24.7)
広島	91,485,464	2.2	-23.8
福岡	153,368,306	3.6	-27.0
10都市以外の地区	1,272,175,477	30.1	-19.4 (-22.7)
北海道	10,592,173	0.3	-19.4 (-23.9)
東北	59,589,890	1.4	-14.0 (-25.6)
関東	552,579,527	13.1	-19.4 (-23.6)
中部	98,852,926	2.3	-19.4 (-24.6)
近畿	185,997,733	4.4	-16.2 (-17.0)
中国	98,504,713	2.3	-19.8
四国	69,419,851	1.6	-21.7 (-25.4)
九州	196,638,664	4.7	-22.8 (-23.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	4,220,425,225	100.0	-25.7 (-26.7)
紳士服・洋品	248,038,753	5.9	-31.0 (-31.9)
婦人服・洋品	719,257,852	17.0	-32.2 (-33.3)
子供服・洋品	92,328,824	2.2	-25.8 (-27.4)
その他衣料品	81,374,372	1.9	-26.2 (-27.9)
衣 料 品	1,140,999,801	27.0	-31.1 (-32.2)
身のまわり品	550,466,686	13.0	-27.1 (-28.3)
化粧品	345,334,719	8.2	-39.1 (-39.6)
美術・宝飾・貴金属	294,854,581	7.0	-22.8 (-23.6)
その他雑貨	145,615,854	3.5	-23.3 (-26.1)
雑 貨	785,805,154	18.6	-31.0 (-31.9)
家 具	46,490,607	1.1	-24.3 (-25.5)
家 電	13,938,677	0.3	-8.1 (-8.3)
その他家庭用品	117,578,389	2.8	-21.0 (-22.7)
家 庭 用 品	178,007,673	4.2	-21.0 (-22.5)
生 鮮 食 品	264,366,880	6.3	-9.3 (-11.0)
菓 子	360,164,160	8.5	-20.4 (-21.1)
惣 菜	292,108,939	6.9	-17.2 (-17.9)
その他食料品	402,705,224	9.5	-14.7 (-16.4)
食 料 品	1,319,345,203	31.3	-15.9 (-17.1)
食 堂 喫 茶	83,824,946	2.0	-41.5 (-43.0)
サ ー ビ ス	41,487,516	1.0	-28.2 (-29.6)
そ の 他	120,488,246	2.9	-8.0 (-1.6)
商 品 券	103,309,007	2.4	-20.4 (-20.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2020年1月～2020年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,130,748,819	100.0	-29.1 (-29.2)
紳士服・洋品	83,720,699	7.4	-33.3 (-33.3)
婦人服・洋品	162,987,999	14.4	-39.0 (-39.1)
子供服・洋品	22,611,890	2.0	-28.8 (-28.8)
その他衣料品	18,427,104	1.6	-32.4 (-32.4)
衣 料 品	287,747,692	25.4	-36.3 (-36.3)
身のまわり品	155,548,544	13.8	-31.9 (-31.9)
化粧品	99,551,300	8.8	-42.1 (-42.1)
美術・宝飾・貴金属	89,842,940	7.9	-26.1 (-26.2)
その他雑貨	44,287,976	3.9	-31.4 (-31.4)
雑 貨	233,682,216	20.7	-34.7 (-34.8)
家 具	15,992,882	1.4	-12.8 (-12.8)
家 電	9,862,076	0.9	-5.4 (-5.4)
その他家庭用品	32,192,281	2.8	-18.2 (-18.2)
家 庭 用 品	58,047,239	5.1	-14.8 (-14.8)
生 鮮 食 品	50,011,461	4.4	-11.1 (-11.1)
菓 子	85,173,404	7.5	-26.2 (-26.2)
惣 菜	69,729,955	6.2	-18.7 (-18.7)
その他食料品	118,690,396	10.5	-11.0 (-11.0)
食 料 品	323,605,216	28.6	-17.2 (-17.2)
食 堂 喫 茶	17,500,146	1.5	-47.9 (-48.0)
サ ー ビ ス	18,615,201	1.6	-26.0 (-26.0)
そ の 他	36,002,565	3.2	-6.0 (-11.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	23,830,632 千円	-20.8 (-20.8)
従 業 員 数	198,185 人	-4.4
店 舗 面 積	9,917,742 m ²	-1.2
営 業 日 数	28.0 日	前年 30.2 日

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>